

☆保護者の皆様から貴重なご意見もいただきました。本当にありがとうございました。

オープンスクールで、子どもたちが学校生活を楽しく送っているのが見られて良かったです。先生方のいろいろな工夫が授業や教室環境を見ていて伝わってきました。

楽しい学校生活については、アンケート結果①でも高い評価をいただきました。しかし、児童の7.7%、保護者の5.0%が「あまりそう思わない・そう思わない。」と回答しており、私たち教職員には、児童の発達段階や心情に寄り添ったかかわり方、分かりやすく魅力のある授業づくりが、なおいっそう、求められます。同時に「運動会」「音楽会」「マラソン大会」「自然学校」等の教育活動等を実施する中で、「小さな壁」を克服する精神力を鍛えていくことも保護者や地域との連携の中で必要なことです。

授業の中で、自らが作った課題に対して、子どもたちが前向きに取り組んでいる姿に感動しました。毎日の先生方の子どもに視点を充てた指導に感謝します。

本校の教育方針の一つである、「自立」につながる視点です。これからの変化の激しい社会の中でも、感性を豊かに働かせながら、よりよい人生や社会の在り方を考え、試行錯誤しながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していくとともに、新たな問題の発見・解決につなげていくことができる児童を目指していきます。

授業中、子どもたちが、うまく発表できない子がいたら、周りの友達が励ましたり、助け舟を出してあげたりする姿がよく見られ、温かい気持ちになりました。

本校の教育方針の一つである「共生」につながる視点です。子どもたちの多様性を認め、尊重していくことが求められるこれからの時代において、「笑顔、つながる・考える授業」は本校の基本です。「日本語が得意でない児童」「苦手な部分を持つ児童」等、それぞれの子どもの困り感に寄り添った教育を児童と共に作り上げていきます。

校内、ゴミ一つ落ちていませんでした。子どもたちはしっかり、掃除をしているのですね。音楽や外国語活動(英語)、家庭科など、普段見られない授業を見てよかったです。

教育には「不易」と「流行」があります。「美しい学校・掃除」は、小中一貫教育9年間の大切な、どの時代にも通用する指針です。一方、本校では、3年生以上は、日本語よりも英語主導による授業が既に定着化しており、市内外から高く評価されています。

水辺の楽校などの学校行事や地域の皆様のかかわりから、学校が以前より身近に感じられるようになりました。これからも「地域の子」として、育って行ってほしいです。

市場小の校歌の二番に「土と人にと恵まれて・・・」という一節があります。毎日の登下校の見守り隊、環境学習や昔遊びでのゲストティチャー、スポーツ少年団やコミセンの寺子屋等、子どもたちは常に地域の人の温かさに支えられています。きっと、将来、このかかわりを通して、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となってくれることでしょう。

他市の小学校では授業でタブレット(教師用)を用いて子どもたちの調べ学習に活用するのを見かけるのですが、市場小ではあまり聞かないのはなぜでしょうか。

あらゆるものがインターネットにつながり、分析され、使われる時代が到来しています。ICT環境は今後、必須の教育環境となります。市場小学校でも、明石高等専門学校や企業と連携してプログラミング教育を教師の研修も含め、進めているところです。

マラソン大会のコースは、前の方がよかったです。狭いところが多くぶつかって怪我をすることが心配です。なぜ変更になったのですか。

ご指摘のように前のコースは、落ち葉の絨毯を走るよいコースでありました。しかし、課題もありました。①コース上の安全管理(人が少なく、学校から離れすぎていて、万が一の対応がしにくい)②道路(車の通行が多い)を長時間とめおくことが難しい。③体力面からの距離の見直し④コースの管理(土いれ、石とりなど)が行いにくい。※職員会議で話し合い校長が決定。

図書室を充実させてほしいです。(①子どもが居やすい。②冊数を増やす③破れた本の補修④コーティング等。

ご指摘のように読書環境の充実は、児童の読書意欲を高めるためにも大切なことです。①③④については、10月に小野市立図書館の司書職員のご協力をいただき、図書室の全面整理をしました。また、②についてはOSL(小野市立図書館の学級貸し出し)等を利用しています。ご家庭でも、休日の読書活動や新聞記事への挑戦等ご協力をお願いします。

学校で歯磨きを毎日、食後にできるようにしてほしい。

昼食後の歯磨きについては、昼休み時間の確保や手洗い場数の関係で牛乳パックを使用してのうがいを毎日しています。但し、歯磨き週間は学年ごとに丁寧な歯磨き指導をしています。

【学校評議委員会からのご提言】

- ◎学校評価アンケートでは全項目で児童・保護者・教職員とも肯定的な回答が見られうれしく思います。しかし、たとえ数%でも悩みを持つ児童・保護者の困り感を受け止め、課題に向けて真摯に取り組んでください。特に、あいさつについては、市場小の重点項目であるが、子どもと、保護者、教職員でずれがある。学校はこのずれをていねいに説明してほしい。
- ◎「水辺の楽校」や教室のゲストティチャー等、地域の知恵や力を取り入れながら子どもたちを育てていく環境を作ることが求められています。ハートフルウオーキングでは130名の児童や保護者が参加してくれました。学校が地域社会をリードして、学校が地域社会を支えていく、相互に成長していくという形の在り方が今求められています。
- ◎人口減少、少子高齢化、グローバル化、新型コロナウイルス感染症対策、情報化への対応等、将来の変化を予測することが困難な時代に、私たちも学校の応援団として協働・参画していきます。